



令和2年8月25日発行 中等新報第67号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

13期生進路講話① ～ブレない「方針」と「実践」～



6年生対象の講話に臨む13期生の皆さん(左から、山口愛可さん、東琳加さん、佐藤太陽さん、中島彩映子さん、櫻井友哉さん)

8月17日(月)、8人の卒業生(今春卒業した13期生)が自分たちの受験体験を後輩に伝えるために来校してくれました。そこで、1限は6年生対象、3限は二手に分かれて、4、5年生対象の進路講話を実施しました。私は、6年生対象と5年生対象の話を聞いたのですが、彼らの話のポイントは、① 早期に受験準備の方針を立てること、② 準備を進める過程で必要に応じて計画に修正を施す柔軟さを持つことの2点でした。主に6年生対象の講話から、その要点を以下に紹介します。



山口愛可さん(秋田大学医学部保健学科看護学専攻進学)

山口愛可さんの場合

- ・私は当初、推薦での進学を考えていました。昨年の8月は、毎日学習センターに通って、理科、社会、数学の基礎固めをしていました。理科、社会は教科書の説明を暗記し、数学は学校で配付された問題集を繰り返しやりました。推薦であっても、センター試験対策は外せません。
- ・9月は成績が上がらず、気持ちが落ち込みました。担任の先生からは、頑張った結果は3か月後に出るから気にするなと励ましてもらいました。
- ・10月に、推薦対策として面接・小論文の準備を始めたのですが、学習との両立で悩みました。一般受験の生徒が必死に学力を上げている時期ですので、どんどん学力差が開いていきます。
- ・11月に推薦の結果が出て、私は不合格でした。この時期、本当にメンタル面がきつかった。先生も一緒に泣いてくれました。ここから、センター試験準備に本腰を入れたのです。センターの結果は、第一志望校には届きませんでした。出願に当たっては、現実を直視することが大切だと思います。

(次号へ続く)



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773

HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>